

セルフコントロールによる

夢の実現

加茂高校2年生

学年通信 第5号 R3.5.28

【6月の予定】

月	火	水	木	金	土	日
5/31	1	2	3 前期中間考査	4 前期中間考査	5	6
7 前期中間考査	8 前期中間考査 命を守る訓練	9 球技大会 身だしなみ強	10 学部学科調べ 週週間～15日	11	12	13
14 薬物乱用防止 講座	15 理数科課題研 究構想発表会	16	17 校外研修	18	19 土曜講座	20
21 学校祭 LHR	22	23	24 学年集会	25	26 土曜講座	27
28 生活実態調査	29	30	7/1 学部学科調べ 発表会	2	3 進研模試	4

※今未来手帳に5の反省と6の目標・計画の記入をしましょう。

※LHR・総合での部学科調べの発表会が7月に予定されています。

※オープンキャンパスの情報が各大学のホームページなどで公開されます。各自でチェックしてください。

<https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/OpenCampusSearch/>

上記URL (Benesse マナビジョン) からだと検索しやすいです。



6月のはじめには前期中間考査があります。考査についての学習は順調に進んでいますか？ 「学びて時に之を習ふ。亦よろこばしからずや」という論語の言葉があります。授業や週末課題、小テストで学んだことを、人に説明するようにして自分自身の血肉にすることが、「習ふ」ということの意味なのかなと思います。ただ暗記したことを吐き出すようにして、目の前のテストをやり過ごすだけでは、しっかりした実力はつきません。人にも説明できてこそ、自分のものになったということ。そういう学習をめざしましょう。「学習」は、「学んで、習う」です。そうした学習が7/3の進研模試に実力となってあらわれますように！

青嵐真っ向勝負挑みけり 山本有香

愛媛県松山市で毎年行われる俳句甲子園での高校生の作品です。

学びて時にこれを習ふ…

「子曰く、学びて時に之を習ふ。亦、説しからずや。」

という言葉が『論語』にあります。中学校でも習いましたか？ 古来、東アジアの教養の根底を支えてきた儒学のエッセンスは、この『論語』という本にあるとされてきました。ヨーロッパの思想と儒学との違いは、ヨーロッパの思想の根底を支えてきたギリシャ哲学が、抽象的、観念的であることに対して、儒学は、実践的である点だとされています。ギリシャでは、雄弁術と言って、人を説得する華麗な議論の方法が学問の主たる内容であったようです。そこでは、ソフィストと呼ばれる弁舌の名人がいて、雄弁術を教えることで飯を食べていたそうです。今では詭弁（相手をだますためのもっともらしい議論）をもてあそぶ人のようにイメージされるレトリックの名人が、名士の家庭教師を務めたりもしていたそうです。

翻って儒学では、「巧言令色鮮し仁（こうげんれいしょくすくなしじん）」などと言って、弁舌より実行を求める考えが強く、まあ、平たく言えば、よくしゃべるやつは信用できない、「あいつは口ばかりだ」なんて悪口を言われたりもするわけです。

「学びて時に之を習ふ」という考え方も実践に重点が置かれていて、教わったことを時期を逃さず実習することを求めるものです。「時に」って言うのは、時々じゃなくて、ちょうど適切な時にという意味だと思います。学んだことを実習して身につけることを求める儒学の考え方は、ある意味民主的なものだと私は思います。学者・知識人が理論の中に閉じこもって口舌の徒（こうぜつのと＝しゃべるだけ、命令するだけの人）でかまわないと思うならば、実践は命令された下層階級の人にやらせることになります。理念を自ら実践する人、立ち居振る舞いにまで、学びが染みついている人をこそ、真の教養人というのだと思いませんか。（文責：三田村）



中間テストじゃ。
コウシてはおられん！

きゅんです

